

ミニ講座 多様な子どもの発達

令和5年10月27日に第2回ミニ講座を実施しました。長崎大学副学長 吉田ゆり教授を講師に迎え、「多様な子どもの発達」と題して、ご講演をいただきました。

特別な支援を必要とする子どもの環境について、教育環境をどのように整備するか、人的環境である大人はどのような心構えをもつべきなのかを考えていかなければならないということと言われ、これまでの自分の考えを転換しなければと感じました。

また、発達障害は、医学的には「発達症」と呼ばれ、障害ではなく、先天的な脳機能の凸凹と環境のミスマッチによって、社会生活に困難が生じることと話されました。よって、その子どもが適切な環境にいれば気付かないこともあり、いかに適切な環境を整備することが大切かを気付かされました。適切な環境を整備し、適切な支援を行えば才能が開花することもあるということでした。ほかにも興味深い内容について、ユーモアを交えながらお話しいただき、1時間の講演があつという間に終わってしまいました。

今後も子どもたちに適切な環境と支援を提供できるように、考えていきたいと思えます。

